

うと市議会だより

編集／議会だより編集委員会

発行／宇土市議会 平成27年11月15日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>

「うと教育の日」記念事業 宇土市子ども議会



宇土市子ども議会開催

8月7日、宇土市子ども議会が開催され、市内小・中学校の代表11名の子ども議員が市政に対する一般質問を行いました。

CONTENTS

- P 2～ 3 平成27年第3回定例会
- P 4～12 一般質問
- P13～15 委員会報告
- P16 議案・請願等の議決結果
- P17 子ども議会
- P18 編集後記

平成27年 第3回定例会

第3回定例会を9月7日から9月25日まで、19日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市乳幼児医療費助成条例及び宇土市子ども医療費助成条例の一部改正など条例関係4件、平成27年度一般会計補正予算など予算関係9件、各会計の平成26年度歳入歳出決算の認定10件、宇土市教育長の任命など人事案件2件、専決処分の報告及び承認2件、議員提出議案として宇土市議会会議規則の一部改正1件、その他として宇土市選挙管理委員及び補充員の選挙が上程されました。

このうち、水道事業会計決算及び公共下水道事業会計決算を除く決算関係の8議案については、決算審査特別委員会を設置、付託し、次期定例会（12月議会）までの間、閉会中の継続審査としました。

その他の議案については、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、議決結果は16ページに、各委員会での審査内容は、13～15ページに記載しています。

専決処分

◆平成27年度宇土市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ8,625万4千円増額し、総額を148億6,496万1千円とする。
8月25日の台風15号災害対策経費。

条例

◆宇土市乳幼児医療費助成条例及び宇土市子ども医療費助成条例の一部改正

助成対象者が市長の指定する保険医療機関等で通院による医療を受けたときは、申請期間を制限しないものとするため、条例を改正するもの。

【主な内容】

・県内医療機関等で受給者証を提示し外来受診した場合は、医療を受けた日の属する月の末日から起算して1年を経過した後も申請できるものとする。

【施行日】

・公布の日

◆宇土市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例

老人福祉計画及び介護保険事業計画を一体的に審議する機関を設けるため、条例を制定するもの。

【主な内容】

・所掌事務 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見直しその他高齢者の福祉に関することについて審議し、市長に答申すること。

・組織 宇土市介護保険運営協議会の委員をもって充てる。（学識経験者等12人）

・任期 右記計画策定年度の末日又は協議会の委員の任期満了若しくは辞職の日まで。

・報酬 特別職の職員で非常勤のものとの報酬及

び費用弁償に関する条例において、5,100円と定める。ただし、現職の弁護士、医師、公認会計士及び大学教授等にあつては10,000円
【施行日】
・公布の日

予算

◆平成27年度宇土市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ3億4,848万9千円増額し、総額を152億1,345万円とする。主なものは、防災機能強化事業（小・中学校）、水産物供給機能保全事業の増額補正。

◆平成27年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ4,901万1千円増額し、総額を54億3,261万1千円とする。主なものは、人事異動に伴う人件費の増額補正及び事業費確定に伴う過年度返還金の増額補正。

◆平成27年度宇土市介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ7,618万4千円増額し、総額を33億6,571万7千円とする。主なものは、人事異動に伴う人件費の増額補正及び事業費確定に伴う過年度返還金の増額補正、並びに事業費の組替。

人事

◆宇土市教育長の任命（任期3年）

太田 耕幸 氏（新任）

◆宇土市教育委員の任命（任期3年）

伊豫 富久 氏（再任）

ピックアップ

「決算審査特別委員会」を設置

○決算審査特別委員会

委員長	副委員長	委員		
藤井 慶峰	野口 修一	西田 和徳 平江 光輝	園田 茂 山村 保夫	嶋本 圭人 福田 慧一

※ 決算審査特別委員会とは？

歳入歳出予算執行の実績である決算の案件を審査するために設置される委員会のことをいいます。議会が決定した予算が適正に執行されたかを審査し、その結果は翌年度以降の予算編成や行政執行に生かされます。



○宇土市選挙管理委員及び補充員の選挙

今定例会で宇土市選挙管理委員及び補充員の任期満了（平成27年9月26日）に伴う選挙を行い、次の方々を選出しました。

補充員は委員に欠員が生じた場合などに以下の名前の順序で委員となります。（敬称略）

選挙管理委員

江口 輝幸 神本 憲子 木下 良輔 野村 英一

選挙管理委員補充員

湯野 正 松下 匠 柿下 君子 中野 洋

◆平成27年度宇土市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ3億4,848万9千円を増額し、総額を152億1,345万円とする。

費目 (歳出概要)	予算額 (千円)	歳出の主なもの () 内数字は補正額【単位：千円】
議会費	△8,700	給料 (△5,400)
総務費	67,906	地域おこし協力隊事業（移住定住事業）(1,417), 交通安全施設整備事業経費 (5,720)
民生費	90,574	国保会計繰出金経費 (47,944), 介護基盤緊急整備特別対策事業 (17,172)
衛生費	△12,886	給料 (△9,300), 保健センター施設管理経費 (1,091)
農林水産業費	8,072	水産物供給機能保全事業 (31,410), 単独一般農道整備事業経費 (2,569)
商工費	4,347	西部地区観光資源活性化事業 (3,370)
土木費	34,650	地方道路等整備事業経費 (22,200), 道路維持一般経費 (10,000), 公営住宅維持管理経費 (3,000)
消防費	△958	熊本県消防ポンプ操法大会経費 (△910)
教育費	165,484	防災機能強化事業（小・中学校）(226,960), 保護者のための療育支援事業 (5,744)

平成27年第3回宇土市議会定例会 一般質問一覧表

【一般質問】

発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	今中 真之助	(1) 自主防災組織について (2) 個人情報保護について (3) 鍼灸院補助事業について	4
2	宮原 雄一	(1) 中山間地域の果樹振興について (2) 網田ネーブルについて	5
3	平江 光輝	(1) 地蔵まつりのごみ処理について (2) 小中学校トイレの使用状況について	6
4	檜崎 政治	(1) 避難実施要領のパターン策定について (2) 介護保険認定について	7
5	野口 修一	(1) ふるさと納税 (2) ペットの保護と管理 (3) 障がい者の生活環境	8
6	中口 俊宏	(1) 小学校の道德教育・英語教育の充実について (2) 奨学基金の効果的運用について (3) 公園の維持管理について	9
7	藤井 慶峰	(1) 広報「うと」の音声版又は点字版の発行について (2) プレミアム付き商品券について	10
8	芥川 幸子	(1) 「日本版ネウボラ」の取組みについて (2) 子どもの貧困について (3) 日常生活用具給付等事業について	11
9	福田 慧一	(1) 小中学校教職員の勤務状況について (2) 地籍調査について (3) マイナンバー制度について	12



6月11日、宇土市を襲った集中豪雨（網田・西原地区の様子）

実際機能する自主防災組織を

自主防災組織について



（政風会）

今中 真之助 議員

問 現在の組織結成率と避難訓練や防災訓練の実施状況は。

答 世帯数での結成率は本年4月1日現在で設置率91.1%である。また、訓練や講座等の実施状況は市全体では29地区と2つの公民館講座で開催され、約1,430名の市民の方が参加された。（総務部長）

問 既に設置してある組織においても災害が発生した場合は何をすればいいかわからないという声がある。実際に機能できる体制づくりの推進についてお尋ねする。

答 平成25年度に導入した防災アドバイザーを中心に各地区の嘱託会総会等に出向き、自主防災組織の重要性の説明や、防災訓練等の開催をお願いしているが、今後さらに啓発を強化し

ていきたい。また、宇土マリー

ナをメイン会場とした市内全域での宇土市総合防災訓練を本年10月に計画しているが、多種多様の訓練を通し、災害発生時に自主防災組織を含む市民の皆さんがどのような行動をとればいいのかを体験して頂き、実際に機能できる体制づくりの推進を行えると考えている。（総務部長）

個人情報保護について

問 住民票の代理人請求のうち、任意代理人の場合は委任状偽造による不正取得防止のため、本人へ電話等で確認をすべきではないか。

答 代理人請求の際、必要と判断されるときは電話により依頼の事実を確認するが、全ての案件についての確認は市民サービス低下にも繋がるため、難しいと考えている。なお一部の市

町村では、本人通知制度を導入されているところがあるが、日本弁護士会連合会の「本人へ通知をされると、強制執行や保全処分を警戒し、それらに備えた対応を取られてしまい、本来予定していた強制執行や保全処分が機能しないことになりうる。」という理由の申し出により、本市において制度導入は行っていない。（市民環境部長）

鍼灸院補助事業について

問 一昨年度と昨年度の利用状況は助成券交付枚数に対し、実際の利用数は3分の1程度である。また、利用可能な施設も11施設と他市に比べ少ない。目的は高齢者の健康増進である。もっと活用しやすいエリアや対象を拡げられないか。

答 利用エリアについては地元施術所の振興、育成等の観点から現行のままで運用していきたい。また、施術所の指定については現行の鍼灸師协会会员という条件緩和等について、宇土市及び宇城市の鍼灸マッサージ師会と協議していきたい。（健康福祉部長）



国道57号沿いの立て看板

網田ネーブルPRによる宇土市の活性化対策を

中山間地域の果樹振興 について



(無所属)
宮原 雄一 議員

問 昭和60年頃の果樹園面積600ヘクタールは、平成25年には205ヘクタールまでに減少している。今後、高齢化や兼業化による担い手不足により、耕作放棄園の増加が心配される。その対策の一つとして、本市においての果樹園への企業参入と六次産業化について伺いたい。

答 平成24年度において、宇土市側から企業誘致を目的として働きかけを行い、網田地区でネーブル等の柑橘類の栽培を始めるため、JR九州と宇土市が協定を締結した。既に平成25年度から営業を開始されている。網田ネーブルのブランド復活と網田地域の果樹振興に活力を与え成果が表れている。次に、六

次産業化の取組みについては、市として国や県などの施策を活用する方向で推進しているが、取組みそのものを慎重に見極められる方が多く、難しい状況にある。しかし、道の駅等において、独自にネーブル等を六次産業商品として販売されている事例も既にあるため、そのような相談があった場合は、積極的な支援について取組んでいく。

(経済部長)

網田ネーブルについて

問 国道57号網田中学校前付近に、ネーブルと焼き物の里網田の立て看板が立っている。当地区のネーブル栽培の歴史は古く、皇室への献上が行われた事実があり、歴史ある網田ネーブルPRを目的とした今後の取組

みについて伺いたい。

答 本市では、地域特産物として、網田ネーブルをホームページ等に掲載してPRを図り、併せて企業参入を契機とした生産拡大を一つの目標にしている。また、改植事業を活用して老木や生育不良園の改植を行い、生産拡大と品質向上に取組んでいる。これまでは、市のホームページや観光パンフレット、さらに、平成25年度から、食のモデル事業に取組んで作成した情報誌「うとほんど？」の中で、網田ネーブルのPRを展開している。また、「三角西港世界遺産に伴う国道57号PRツール」として計画している、「ウトカラクラブプロジェクト」の中において、PRを更に強化したい。今後においても、JA熊本うきや宇土市商工会、宇土市観光物産協会等の関係機関との連携を密にして、更なるPR強化の取組みについて検討したいと考えている。

(経済部長)



まつりステージ付近の機材上に積まれたごみ

地蔵まつりのごみ事情について

地蔵まつりのごみ処理について



(無所属)

平江 光輝 議員

問 うと地蔵まつりについて、投棄されたごみはどのように集められているか。

答 ごみの対応状況について、路上などに散らかったごみの清掃、さらに造り物の処分については、早朝にもかかわらず地域住民の方々や鶴城中学校の生徒さん達の清掃ボランティアにより毎年隅々まできれいにしています。たいへん感謝しています。(経済部長)

提言 中学校に問い合わせたボランティア参加者を調べたが、内訳として鶴城中部活動14団体参加の中、216人の部員、PTA一步前の会より大人が15人、学校職員が18人の合計249人が参加している。交通量の盛んな場所を全面通行止め

にして歩行者天国にしており、散らかったごみ屑も道路のあちこちに散らばっている。それらを翌日に拾い集める作業にはたいへん危険が伴う。したがって、それなりの交通規制をかけるなどの手立てを講じるか、ごみを道路にポイ捨てしない対策を練るか、いずれかの対策を講じる必要性がある。

トイレの適正数について

問 空気調和・衛生工学会の適正数値を基に各校の男女別適正数を比較した。その中では、多くの学校が生徒減少のため、適正数を大きく上回る設置数である。しかし、大規模校の鶴城中では慢性的な不満がある。本校舎の各階には各学年のクラスが並んでおり、トイレは1組の横に一ヶ所しかない。休み時間では、真横にある1組の生徒はいち早く用を足すことができる

が、一番奥の7組の生徒は順番待ちで休み時間が終了する。この様な声を聞いている。そこで、根本的に鶴城中のトイレは足りているのか、トイレの設置数及び便器の数に対する市の認識はどうか。

答 まず、学校におけるトイレの適正便器数を導き出すためには、一般に「空気調和・衛生工学会」の衛生器具の適正個数算定法が用いられる。現在の鶴城中学校の女子トイレを例に算定すると、適正便器数は15個となるが、実際の便器数は2倍以上の35個となっている。

しかし、総個数では十分足りてはいるものの、各階のトイレの箇所が分散されておらず、また、教室からトイレまでの距離に違いがあることや、さらに休み時間など短時間に生徒がトイレに集中することで使用できないなどの実情を把握しているの、生徒数に対してトイレの設置数及び便器数が不足することは否定できない。

このようなことから、必要性は十分に認識している。

提言 早急に課題解決を図って欲しい。(教育部長)



高齢者とくまモン

避難誘導マニュアル策定を

避難実施要領のパターン策定について



(宇土、みらい)

榎崎 政治 議員

問 国民保護法における武力攻撃事態等において、武力攻撃から国民の生命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にすることは、国・地方公共団体等の責務であるが、本市では避難誘導マニュアルを策定しているのか。また、県内各市町村の策定状況は。

答 現在、本市では避難実施要領は策定していない。

県内各市町村の策定状況については、平成27年4月1日現在の熊本県が作成した資料によると、策定しているのは10市町で、熊本市・八代市・水俣市・玉名市・宇城市・天草市・嘉島町・益城町・あさぎり町・苓北町。避難要領のパターンの種類については、それぞれの市町村で異なるが、1パターンから7パ

ターンまで策定されており、その内容については、弾道ミサイル攻撃、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模集客施設へのテロ攻撃、着上陸侵攻、航空攻撃などが想定されている。また、国民保護に関する訓練の実施については、平成25年度に国・

県・警察・海上保安庁・自衛隊等が参加し、天草市と苓北町を対象に武装グループによる攻撃を想定した、船舶等を用いた県外への避難を含む住民避難の図上訓練が実施されている。

(総務部長)

問 宇土市避難実施要領のパターン策定について。

答 武力攻撃事態等による武力攻撃から市民の生命、身体及び財産を保護し、市民生活等に及ぼす影響を最小にすることは、行政の責務である。本市の実情に沿った避難実施要領を本年度中に策定するために、現在準備を進めている状況である。

介護保険認定について

(総務部長)

問 介護保険認定の不服申し立てについて、介護認定結果に納得ができない。状態は悪くなっているのに要介護度が下がっている等、認定結果に不満を持つ人も多くいると思うが、その状況は。

答 近年の区分変更申請の件数は、平成25年度が210件、平成26年度が226件であり、介護認定者の約1割となっている。市としては、要介護度の認定の仕組みについて市民の皆様理解をして頂き、この区分変更申請の件数を極力減らしていきたいと考えている。

(健康福祉部長)

問 介護認定調査時だけでは要介護者の本当の状態は分からないことが多いと思う。日頃の状態をビデオに撮ったものを見てもらって、判定資料の一つとすることは可能か。

答 今後、ビデオによる調査が必要になってくる場面もあるかもしれないが、現時点では慎重に精査する必要がある。

(健康福祉部長)



パラリンピック・ソチ大会開会式 日本選手団の入場行進

ペット飼育の責任，障がい者のスポーツ，ひきこもり者の就労支援



(政風会)

野口 修一 議員

ペットの保護と管理

問 ペットの保護や管理、命の責任等について規定する本市独自の条例の制定は可能か。

答 独自に条例の制定は、今のところ考えていない。今後も県条例に基づき、管内保健所等と連携し、飼い主が飼育放棄をしない教育指導、啓発等に努める。(市民環境部長)

障がい者のスポーツ

問 本市の障がい者スポーツの現状及び障がい者の活躍と、スペシャルオリンピックスの活動内容について。

答 市が開催する福祉スポーツ大会には、昨年120名が参加した。また、県大会の立幅跳で大会新記録を樹立し優勝された野添静雄氏が全国大会に出場される。

スペシャルオリンピックスとは、知的障がいのある人達に様々なスポーツトレーニングと

その成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織である。(健康福祉部長)

支援クラス児童のICTツール

問 小中学校の支援クラスと支援学校との学習連携や情報交換等は行われているか。

答 宇城地域特別支援連携協議会の巡回相談において、小中学校の要請に基づき支援学校教諭を当該学校に派遣し、当該児童生徒の授業参観及び教科指導における助言アドバイスや情報交換を行っている。(教育部長)

大人のひきこもりと就労支援

問 大人のひきこもりの現状と、その対策と市の就労支援について。

答 内閣府の「ひきこもりに関する実態調査」の割合からすると、本市の推計値は「ひきこもり61人、準ひきこもり120

人」(15歳〜39歳)となる。うと自立相談センターでは、ひきこもりの相談があった場合は、委託業者と連携し日常生活の見直しや就労に向けた支援を行っている。(健康福祉部長)

提言 仮にひきこもり者を18歳から2年間の職業訓練した場合、生活保護費と訓練費は約460万円となるが、その後65歳までに納入される税金・社会保険料は約4,000万円となる。逆に不登校のまま65歳までひきこもり続け、生活保護を受け続けると公的負担は約6,000万円となり、差し引いた社会的損失は約1億円となるので、ひきこもり者の就労支援に取り組んで欲しい。

若年性認知症の職場理解

問 市内の企業に、若年性認知症の理解が必要と思うが、企業の認知症サポーター養成講座の受講状況は。

答 市内企業における養成講座開催はまだ少ない。認知症に対する正しい理解が、認知症の方の受け入れ、職場環境の改善につながっていくと思われるので、企業に対する養成講座開催の働きかけに力を入れたい。(健康福祉部長)



網津小学校

小学校教育の充実について

教職員の指導力の向上対策及び道徳教育の推進



(無所属)

中口 俊宏 議員

担任の研修を充実し、指導力の向上をさらに図る。

問 昨年3月第二次宇土市教育振興基本計画の策定に当たり、市民アンケートが実施されており、その基本計画に盛り込む項目で一番多かったのが「教職員の指導力・資質の向上」である。このことは重要な課題であり、今後の対策について。

次に、道徳の学習指導要領が一部改正になるが、これに併せて「人を愛する心・人を大切に
する心、自然を愛する心・郷土を愛する心」の教育が必要である。また、道徳教育推進教師の研修等の充実も必要であり、これらの対策について。

答 教師の指導力の向上は最重要と考えている。本市では、教育力向上指導員の授業訪問指導及び各学校での研究授業で授業力の向上を図っている。今後、

驚き、また、いろいろな国の言葉が飛び交っており、まさにグローバル化の到来を実感した。このような状況の中において、将来のある本市の小学生には話せる英語教育の必要性を実感した。また、子どもが楽しく学べるALTによる教育時間の増加も必要であり、これらの対策を質問する。

次に道徳対策については、国の審議会等の提言や答申を踏まえて「道徳の時間を特別の教科道徳」として新たに位置づける学習指導要領の一部改正があり、いじめ問題への対応の充実等が踏まえられ、考え論議する道徳に転換が図られた。今後、道徳教育推進教師の研修を充実し、指導力の向上を図る。また、平成30年度から検定教科書を導入して全国的な実施となるが、熊本県では、平成28年度から県内全ての小学校で改訂の趣旨・内容を踏まえた授業を実施することとしているので、本市でも、平成28年度からの実施となる。

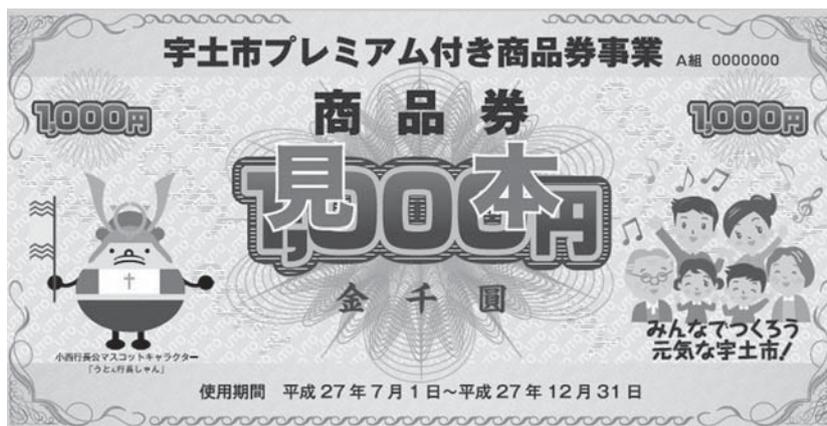
(教育長)

話せる英語教育

問 先月東京、千葉に行く機会があり、外国人が多いことに

答 平成32年度予定の小学校高学年における英語教育の教科化などグローバル化に対応した英語教育改革の実施に対応するため、指導体制の強化が必要である。例えば、リーダー的教員の養成及び学級担任への研修、英語検定準1級の資格を持つ教員の配置、小中学校連携による授業づくりなどが推進されることになり、併せて生きた英語を子ども達に伝えるALTや外部人材の活用も充実させる必要がある。本市教育振興基本計画の施策の柱である「時代のニーズに応じた教育を推進し、グローバル人材の養成」を進めたいと考える。

(教育長)



プレミアム付き商品券の見本

市民福祉の向上と商店街活性化のために



(無所属)

藤井 慶峰 議員

広報うとの音声版、点字版の発行について

問 視覚障がい者、聴覚障がい者の方のために広報うとの音声版や点字版の発行が必要ではないのか。

答 平成18年から福祉政策の一環として音声版の発行をしている。点字版については利用希望があれば発行したい。なお、今後は音声版の周知に努める。

(企画部長)

提言 議会だよりも、実現するよう議会改革特別委員会の中で提案したい。

プレミアム付き商品券について

問 私は、地元商店街を守り、買物難民を出さないためにもプレミアム付き商品券を発行すべきと提案してきた。今回、プレ

ミアム付き商品券が発行された。自治体によっては、少数の市民が商品券を買い占め、執行部や議会に対する批判の声が上がっている。

宇土市では、公平公正な発行方法を取られて良かったと思う。

この商品券による成果は、様々な角度から検証しなければならぬ。今回の商品券の発行額や交換方法、必要経費等は。

答 第1回目の販売を7月1日から7月12日で実施し、第2回目を一般世帯分のみ8月29日、30日の2日間で実施した。市民が購入した金額は、合計で1億6,181万2千円であり、

プレミアム分を含め換算すると2億2,564万4千円分の商品券が市場に流通したことになる。

(企画部長)

問 市民から交換方法について不満の声はなかったか。

答 1世帯に1冊まで購入可能な引換券を各世帯に郵送し、

それと引き換えに商品券を渡す販売方法で広く市民の方に行き渡る制度設計にした。第1回目の販売では完売しなかったため、8月に先着順で再販売を実施したところ完売した。第1回目の販売では、全世帯の方が土日も購入できるよう配慮したことで、市民の反応としては好評だった。第2回目の販売では、予想以上の購入希望者が来庁され、交通渋滞等一部混乱が生じ、ご迷惑をお掛けした。頂いた多くのご意見、ご要望は今後活かしていく。

(企画部長)

問 食料品店さんの話が伝わってきた。商品券では、釣り銭が貰えないことから大型店に逃げられたために売り上げが激減したようだ。このようなことが多くの商店で起きるならば、地元商店には逆効果である。使える店を地元商店だけに制限することも考えなくてはならない。プレミアム付き商品券が市民のためになったか、商店街の活性化に繋がったかどうか、今後とも検証して頂きたい。

答 市民と事業者に対してアンケートの実施を計画している。その結果を今後の施策に活かせるよう取組んでいく。

(企画部長)



母子手帳交付時の様子

ワンストップの窓口で妊娠から育児まで切れ目のない支援を



(公明党)

芥川 幸子 議員

「日本版ネウボラ」の取組みについて

問 本市における、妊娠中から就学前の子どもがいる家庭を対象とした、妊娠期から子育て期における様々な助言、支援など切れ目のない支援体制の現状について。

答 妊娠期は、健康づくり課において、①妊娠届出・母子手帳交付時に、管理栄養士による妊娠中の食事や保健師による妊娠期の健康に関する話、宇土市の母子健康事業の紹介、母子手帳、妊婦健診受診票の使い方について説明。②出産まで14回の妊婦健診費用の公費助成。産後期は、①乳児家庭全戸訪問事業。②乳幼児の定期健診。③乳幼児教室・健康相談・心理相談。④予防接種。育児期は、子育て支援課において、①産後ママサ

ポート。②一時預かり事業。③地域子育て支援拠点事業。④子育て短期支援。⑤病児・病後児保育事業。⑥ファミリーサポートセンター事業。以上のように、担当課、保育所等と連携協力しながら、助言・支援を行っている。(健康福祉部長)

問 これらをワンストップで包括支援できないか。また、実施に当たっての課題及び拠点の整備について。

答 ワンストップで実施するために市の組織として事務分掌や人員配置、職員の確保、施設整備等の課題がある。国においても、「子育て世代包括支援センター」として、妊娠・出産包括支援事業の展開を推進しているところであり、本市としても、各関係機関と連携し、先進地の調査研究を行いながら検討していく。(健康福祉部長)

子どもの貧困について

問 「子どもの貧困」に関わる所得や資産の格差解消に向けた、ひとり親家庭等への就業支援及び4月からの生活困窮者自立支援法に基づく「子ども学習支援」の取組みについて。

答 ひとり親家庭に対して、就職に有利な資格取得やスキルアップを図ることができるような就業支援を行っているが、受講者は、毎年数人程度に留まっている。今後は制度の周知体制の充実を図ると共に、相談体制の確保に努め、受講を促す働きかけが必要と考える。「子ども学習支援」は、民間事業者へ委託し、実施している。(健康福祉部長)

「大活字図書」の普及や周知について

問 厚労省が日常生活用具給付等事業の給付対象品目に大活字図書を加える制度変更があった。本市では、視覚障がい者の方へ、給付対象にされるのか。

答 今後、視覚障がい者の方から要望があれば、追加を検討する。(健康福祉部長)

一般質問



網田地区

法令等を守らず上網田、下網田の地籍調査を進めたため、誤りが多く再調査が必要。新たに数千万円の市負担

教職員の長時間勤務の改善を



(日本共産党)

福田 慧一 議員

問 文科省の調査では、公立

の小中学校の教諭の勤務時間は1日11時間を超える長時間勤務となっている。これを改善するには、一クラスの子どもの人数を減らし教職員を増員する必要がある。県や国に増員を求め、市も支援を強めるべきではないか。

答 教職員の増員や1学級の児童生徒の人数については、法律によって、教職員定数の標準及び学級編制の基準が規定されている。熊本県では、小学校1年生だけでなく、2年生まで35人学級を実現させている。教職員の増員については、熊本県市長会で、国への働きかけを引き続き行っていく。また、小学校部活動の社会体育移行も進めて

地籍調査について

おり、実質的な負担軽減になると考える。
(教育長)

問 上網田、下網田の地籍調査で法令等を守らず、適正な処理がされていない。そのため、里道や水路の確保や分筆、合筆などで多くの誤りが発生している。執行部からは、再調査には最低でも3～4年、費用は新たに数千万円必要とあった。誤りの原因と責任を明確にすべきである。

答 地籍調査の誤った手順が継承されてきたことから、結果として誤った成果となっている。また、管理監督職員による十分な検査体制が確保されず、誤りの実態把握が遅れてしまった。今後は担当職員の地籍調査に対する意識改革を行い、正確な調査に努めると共に、スピード感

マイナンバー制度について

を持って、誤りの修正業務にまい進する。
(経済部長)

問 この制度は、税や社会保障関連、銀行口座などの個人情報

を12桁の番号に集約し、国や自治体が管理するものである。国や自治体にとっては効率的で便利であるが、国民にとっては徴税強化や社会保障削減に利用され、情報流出などにより、不正使用やなりすましなど不安がある。番号カードがなくなると日常生活に支障はない。市長は国に中止を求めるべきではないか。
答 マイナンバー制度は、市民にとっても行政にとっても様々なメリットをもたらすものと考えており、今年10月の制度開始に向け、万全な態勢を目指し準備をしているところで、国に対し、延期、中止を求めることは考えていない。
制度面やシステム面で十分な対策を講じ、さらに全職員が高い意識を持ち、個人情報保護の徹底を図っていきたいと考えている。
(市長)

委員会報告

総務市民

総務部・企画部・市民環境部・その他を所管



野口修一委員長

《議案関連》

宇土市個人情報保護条例及び宇土市手数料条例の一部を改正する条例について

問 個人情報とは、氏名や生年月日・住所などで特定の個人を識別できるものと認識しているが、特定個人情報とはどのような違いがあるのか。

答 特定個人情報とは、個人情報のうち個人番号（マイナンバー）が記載されているものをいう。

平成27年度宇土市一般会計補正予算（第5号）について

問 地域おこし協力隊について、協力隊員は過疎地域などに住民票を異動して地域協力活動を行いながら、その地域に一定期間定住するようだが、給料や住所要件などはどのようなものか。

答 給料は年間200万円以内で期間は3年間が上限。なお、スキルに応じて最大250万円まで可能。また、本制

度は地方創生の一環であり、政令指定都市の熊本市を含む大都市からの移住を想定している。

問 地域おこし協力隊は、3年後は自分で生計を立てるのか。

答 定住してもらえるように、自分で生計を立ててもらおうことになる。なお、起業される場合は、国からの財政支援がある。

《議案以外》

宇土市総合防災訓練

問 10月25日に開催される総合防災訓練は、以前から取組んでいたのか。

答 市民を対象とした総合防災訓練は昨年から行っており、昨年は宇土東小校区の住民を対象として防災センターで実施した。今年から、宇土市全域で行う計画で、今年の会場は宇土マリナをメイン会場とし網田で実施する。今後、校区毎に実施をしていきたい。

婚活事業

問 委託業者がプロポーザル方式で選定されたようだが、選定方法や選定理由はどのようなものか。

答 書類審査と20分程度のプレゼンを行った。今回の決定業者だけが2回のイベント（12月・2月）を提案された。

理由として、スタッフが細かい所まで気配りできるような人数設定や、マイクロスピーカーを貸し切って市内の名所巡りなど、宇土市の経済効果も期待できる提案が評価された。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



嶋本主人委員長

《議案関連》

平成27年度宇土市一般会計補正予算（第5号）

問 社会資本整備総合交付金事業であるウキウキロードの歩道整備に関して、タイムスケジューリングはどうなっているのか。

答 今年度は測量設計を行い、来年度に用地買収を進めて、用地買収が終わり次第、着工する予定である。

平成27年10月からの改正に伴うミニバス数の便数

問 利用者数が少ない系統を4便から3便に減便されるようだが、各便の間の時間を少しとったかどうか。

答 現在までの利用状況を見て減便の判断をしたが、今後も引き続き利用状況と利用者の意見を聞きながら検討したい。

問 網田地区の一部における地籍調査の誤り修正に係る地籍調査相談員について、何名予定しているのか。

答 弁護士又は土地家屋調査士といった専門知識を有する方を1名予定している。

《議案以外》

地籍調査の誤りの問題について執行部から報告

地籍調査の誤りは、平成19年度以降に多いことを確認している。関係機関に地籍調査の誤りの現状について報告し、今後の進め方等について指示を受けている。今後は、登記済み部分の平成21年度及び平成22年度の誤り訂正を再優先し、その後、未登記部分の再調査に着手する。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



榎崎政治委員長

《議案関連》

宇土市乳幼児医療費助成条例及び宇土市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例

問 医療費の請求期間を1年だったものを延長する内容だが、なぜ改正が必要なのか。

答 保険診療の診療機関と同様の取扱いとし、払い残しが起こらないように改正するものである。

平成27年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第2号)

問 在宅介護手当について、今後、要介護3の方は補助対象外になるのか。

答 国の補助基準としては対象外になる。また要介護4・5についても条件が厳しくなる。しかし、本市の対応としては、今年度については、従来の基準に基づき、介護保険特別会計上の減額分

を一般会計で計上し、市の単独事業で補助を行い対応している。

《議案以外》

雨乞い大太鼓の文化財指定

問 以前、雨乞い大太鼓の国の文化財指定化について説明があったが進捗状況は。

答 今年7月の椿原太鼓奉納の時に文化庁の民俗文化財担当の調査官が宇土に調査のため来訪された。その際、十分国指定になる価値があるとのことのお話があり、具体的スケジュールとしては平成28年度に申請、平成28年度中には国の重要民俗有形文化財の指定を受けられる見込みである。

《その他の意見》

健康診断について、定期的に病院に受診している方の中には健診を受けない人が多くいると思われる。ただしも病院に受診していれば検査などはある程度行っているとは思いますが、健康診断を受けず、病院にも行っていない、そういった全く健康管理を行っていない方がどれだけいるのか。こういった方を把握し、健診を受けて頂く方法を研究して欲しい。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



浜口多美雄委員長

《執行部からの説明》

熊本・宇土道路

用地取得の状況については、宇土市側、熊本市側共に前回の報告から進捗はなし。工事の状況については、「宇土市側」では、1件の改築保全工事が行われ、今後の予定として2件の改良工事が発注される予定。

また、「熊本市側」については、軟弱地盤対策検討が行われている。

(仮称) 緑川大橋

下部工工事に向けて引き続き、漁業補償の協議が行われており、協議次第で緑川大橋の河川内における下部工の調査が実施される予定。

宇土道路

網津地区、網田地区の物件調査等の用地調査、及び起点側と終点側のJ.Rを跨ぐ橋梁部の地質調査と橋梁予備設計が行

われており、今年度は城塚地区及び網津地区において用地買収が予定されている。

《主な質疑》

問 宇土道路における用地買収は今年度で終わるのか。

答 城塚地区側から用地買収が行われているが、今年度は城塚地区と網津地区の一部が予定されている。

問 今年の11月に国土交通省に対する要望活動が予定されている。前回も質問があったが、要望活動に際して使用しているパンフレットを更新して要望活動を行うのか。

答 パンフレット作製には経費が掛かること、地域高規格道路について本市の住民に広く周知されていることを考慮し、パンフレットの更新はせず、要望書に海側沿い国道における越波及び渋滞状況の写真を添えて要望活動を行っていきたい。

《委員から要望》

次回の第4回定例会において、本委員会が現地を視察し、工事状況や宇土道路のルート等を確認したい。

議会改革推進特別委員会



浜口多美雄委員長

本特別委員会は、昨年12月定例会において設置されて以来、これまで7回の委員会を開催し、審議を行ってまいりました。

本年1月に開催しました第1回委員会で決定しております「全体の進め方」としましては、各委員から提案された個別検討事項を審議し、一定の結論を得るところまでを前半とし、その後、議会基本条例案の作成を後半とすることとしております。

それに基づき、本委員会では、本市をとりまく厳しい財政状況への対応や、住民に身近な開かれた議会を目指すために、議会情報のよりきめ細かな発信を行うことなどを具体化するために、検討を重ねてまいりました。

先の6月定例会では第6回委員会までの審議の経過について中間報告をいたしておりますが、その後、開催いたしました第7回委員会で、大きな意味での前半部分「個別の検討項目の審議」について一定の結論を得ております。

それらの検討項目のうち、主なものについてご報告いたします。

本会議映像配信

現在の、本庁と支所における放送に加え、ホームページ上で、過去の本会議映像の録画配信を行う。

議長交際費の公開

ホームページへの掲載などにより、公開する。

議員報酬の日割り支給

現在、1日でもその職にあれば月額が支給されており、今後、これを日割り支給とする。

議案などに対する賛否の公開

現在公開している議会全体としての賛否に加え、各議案に対する各議員個別の賛否についても、議会だよりへの掲載などにより、公開する。

反問権

議員の質疑・一般質問に対して執行部から反問することができるものであるが、質問の趣旨確認などの、一定の範囲を設けて認める。

費用弁償の廃止

本市をとりまく厳しい財政状況を勘案し、廃止する。(研修等旅費分を除く。)

議員定数

今後、本市の実情を踏まえ、適正な定数を検討していく。

以上が、主な検討項目の審議結果となります。この後、大きな意味での後半部分として、本特別委員会の大きな目的である「宇土市議会基本条例」制定に向けての検討を進めていく予定であります。これは、議会、また議員のあり方やその役割を再定義し、市民に対し宣言するものであり、地方分権時代における自治の考え方にに基づき、宇土市議会の運営の基本原則を定めるものであります。

市民に対し、より信頼される議会を目指し、活発な審議を行い、進めてまいりたいと考えております。

議会だより編集委員会の視察研修報告

8月20日(木)～21日(金)に議会だより編集委員会で、広島市、福岡市に視察研修を行いました。

これは、議会だよりに関して、他の自治体の先進事例を研修するもので、今回は視覚障がい者の方に向けた広報に着眼をおき、両市の議会だより点字版・録音版の発行に係る予算、経緯、市民の反応、課題等のヒアリングを行いました。

本市でも今後、どういったかたちで導入できるのか、内容や方法について検討していくことになりました。



平成27年第3回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案】

番 号	件 名	付託委員会	議決の結果
第65号	平成26年度宇土市水道事業会計決算の認定について	経済建設	原案認定
第66号	平成26年度宇土市公共下水道事業会計決算の認定について	経済建設	〃
第67号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第15号 平成27年度宇土市一般会計補正予算（第3号）について	経済建設	原案承認
第68号	宇土市職員の退職手当に関する条例及び宇土市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について	総務市民	原案可決
第69号	宇土市個人情報保護条例及び宇土市手数料条例の一部を改正する条例について	総務市民	〃
第70号	宇土市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例について	文教厚生	〃
第71号	宇土市乳幼児医療費助成条例及び宇土市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について	文教厚生	〃
第72号	平成27年度宇土市一般会計補正予算（第5号）について	総務市民 文教厚生 経済建設	〃
第73号	平成27年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	文教厚生	〃
第74号	平成27年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	経済建設	〃
第75号	平成27年度宇土市奨学基金特別会計補正予算（第1号）について	文教厚生	〃
第76号	平成27年度宇土市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	文教厚生	〃
第77号	平成27年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算（第1号）について	経済建設	〃
第78号	平成27年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	文教厚生	〃
第79号	平成27年度宇土市水道事業会計補正予算（第1号）について	経済建設	〃
第80号	平成27年度宇土市公共下水道事業会計補正予算（第2号）について	経済建設	〃
第81号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第18号 平成27年度宇土市一般会計補正予算（第4号）について	総務市民 文教厚生 経済建設	原案承認
第82号	宇土市教育長の任命について		原案同意
第83号	宇土市教育委員会委員の任命について		〃

【議員提出議案】

番 号	件 名	議決の結果
発議第2号	宇土市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決

【報告】

報告番号	件 名
第18号	平成26年度宇土市財政の健全化判断比率について
第19号	平成26年度宇土市簡易水道事業資金不足比率について
第20号	平成26年度宇土市漁業集落排水施設整備事業資金不足比率について
第21号	平成26年度宇土市水道事業資金不足比率について
第22号	平成26年度宇土市公共下水道事業資金不足比率について
第23号	専決処分の報告について 専決第14号 損害賠償額の決定について

【請願・陳情】

	受理番号	陳 情 の 件 名	付託委員会	議決結果
陳情	平成26年 4	道州制導入・労働法制改悪に反対し、最低賃金・公務員賃金の改善を求める意見書の提出に関する陳情	総務市民	不採択
	平成27年 2	「川内原発1・2号機の再稼働に当たって、九州電力に対して住民説明会開催を申し入れることを求める」陳情書	総務市民	審議未了
	平成27年 5	高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センターへの支援の要望について	文教厚生	採択

宇土市子ども議会が開催されました。

8月7日（金）に宇土市教育委員会主催で「宇土市子ども議会」が開催されました。

これは、子ども達に行政や議会の仕組みを学んでもらおうと毎年行われているものです。

今年も市内の各小・中学校から選出された11名の子ども議員が、身近な問題から地域の諸問題や将来のまちづくりについて、子どもの自由な発想や視点で捉えた質問や意見を発表し、市長をはじめ市執行部が丁寧に答弁をしていました。

子ども達にとっては、地域の問題・課題に目を向け、自らの考えを主体的に発表する体験の場となっており、市にとっても、子ども達からの意見、提案や要望などを聞くことができる貴重な場となっています。

子ども議員の一般質問は次のとおりです。



質問順	質問事項	【学校名】 議員名	答弁者
1	死角や暗い場所について	【宇土小学校】 井本 恵斗	市民環境部長
2	市民参画のイベントの推進について	【花園小学校】 吉田 朝陽	市長
3	地震の際の津波発生時の避難場所および防災対策について	【走潟小学校】 宇都宮 天徳	総務部長
4	観光・物産の振興について	【緑川小学校】 鳥井 雄斗	市長
5	宇土市における子育て支援体制について	【網津小学校】 坂本 ひより	健康福祉部長
6	網田地区の防災対策について	【網田小学校】 満崎 蒼斗	副市長
7	大雨による被害拡大防止対策について	【宇土東小学校】 園田 和希	建設部長
8	感染症予防対策について	【鶴城中学校】 岩崎 唯人	健康福祉部長
9	スポーツの推進について	【住吉中学校】 吉村 仁志	市長
10	雇用確保及び拡大についての施策について	【網田中学校】 大原 永遠	企画部長
11	宇土駅周辺について	【宇土中学校】 北村 小春	市長

交通問題対策議員連盟

9月25日、市長に対して申し入れを行いました。

これは、小学校通学路の安全確保のため、本町6丁目信号交差点の信号機を歩車分離式に変えることについて、宇城警察署に要望するように求めたものです。



申し入れをする議員連盟

秋の全国交通安全運動期間中（9/21～9/30）、宇城地区交通安全協会各支部等と共に交通安全キャンペーンに参加し、交通安全を訴えました。



交通安全キャンペーン

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議（定例会・臨時会）の会議録を公開しています。

【アドレス】

<http://www.city.uto.kumamoto.jp/>

本会議の会議録（冊子）は、市情報公開コーナー（市役所1階ロビー）、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成27年第3回定例会の会議録は、平成27年第4回定例会以降に閲覧可能です。

◎生中継（ライブ放送）

議会開会中、本会議（定例会・臨時会）の模様を生中継で市役所1階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。

【お問い合わせ】

市議会事務局 0964-22-1111 内線2611

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、ぜひ一度傍聴してみませんか。

- ◇ 議会傍聴席は市役所議会棟2階の議場内にあります。傍聴席入り口で必要事項をご記入の上、席へお着きください。また、委員会傍聴については議会事務局にて受付をお願いします。
- ◇ 本会議の傍聴席の定員は50人です。
- ◇ 委員会傍聴については、委員会室の広さ・内容等により人員を制限する場合がありますのでご了承ください。
- ◇ 原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◇ 本会議傍聴の際は、傍聴席入口に掲示の注意事項をお守りください。

編集後記

落ち葉が風に舞う頃となりました。いかがお過ごしでしょうか。先日、編集委員におきまして、視覚に障がいのある方に向けて行っている事業（広報や議会だより）について広島市と福岡市を視察いたしました。点字版、録音版（CD、カセットテープ、フロッピーディスク版）を作成し、障がいのある方だけでなく、庁内や公共施設で活用をされています。本市におきましても、より多くの方に、様々な情報を伝え、宇土市の発展につながる取組みを行ってまいります。

編集委員

委員長／藤井慶峰 副委員長／野口修一
委員／櫻崎政治 委員／嶋本圭人

平成27年 第4回定例会会期日程

12月2日	開会
3日	特別委員会
4, 7, 8日	質疑・一般質問
9日	総務市民委員会
10日	経済建設委員会
11日	文教厚生委員会
17日	閉会